

《大会での感染予防策》

◦ 委員会の取り組み ▶ 選手の行動

◆ クラブハウス

- クラブハウス内の換気を実施します。
- 消毒用アルコールを各所に配備します。
- 非接触型の検温器による検温を実施します。(37.5℃以上の場合は、出場の可否を主催者側で協議します)

◆ フロント

- ▶ 手指消毒後にチェックインすること。
- 選手へのインフォメーションボードは、密を避け分散して掲示します。

◆ ロッカーの振分け

- 同時に使用する人数や各選手のスタート時刻を考慮します。

◆ トイレ

- 便座除菌クリーナーを設置します。

◆ スタート時刻

- 大会のティータイムは 8 分間隔とします。
- ▶ スタート地点には、スタートする組だけが 10 分前に集合すること。

◆ スターター

- ソーシャルディスタンスの確保のため、選手との間隔を開けて机を配置します。
- 追加のローカルルール等の説明は、口頭による伝達ではなく文書で配布します。
- ▶ カードを含めた配付物はテーブルに置くので、選手自身で取ること。

◆ アテスト

- アテストの前後に各自でアルコール消毒をすることとします。
 - * 以下のローカルルールを追加します。
- ソーシャルディスタンスの確保のため、間隔を開けるようにします。

◆ 競技委員・マーシャル

- コース内を巡回する際、他の競技委員との乗用カートの共用を避けます。

- 選手との会話の際のソーシャルディスタンスの確保を心掛けます。

◆成績表示

- 密の状況避けるため、成績表示はトップアスリートフェローシップのホームページに掲示します。

◆表彰式

- **コロナ対策を配慮し行わないものとする。**

◆大会実施の制限

- 無観客開催

◆緊急時（荒天時）の対応

- 密の状況を作らないように早めに中断を決定します（避難時間の確保）。
- 避難ツール（車両・乗用カート）の十分な量を確保します。

◆ギャラリーの制限

- 出場しない選手、選手の家族を含め大会関係者以外の入場をお断りします。
(選手の家族は送迎のみまたは駐車場に待機)

◆選手及び関係者から疑い例が出た場合

- 自覚症状を確認し、所轄保健所に相談する。
- 該当者から濃厚接触者の有無等について聞き取りを行う。
- 集団発生に対するリスク管理を行う。

◆選手及び関係者から PCR 検査の陽性反応が出た場合

- 会場に感染者がいたことを公表する。
- 該当者から、当日の交通手段、会場内での行動ルートの聞き取りを行う。
- 緊急対応病院または所轄保健所の指示を仰ぐ。
- 大会を中止にするべきかどうかを検討する